



株式会社ケアサービス

2021年3月期第2四半期決算説明会

2020年11月26日

イベント概要

[企業名]	株式会社ケアサービス
[企業 ID]	2425
[イベント言語]	JPN
[イベント種類]	決算説明会
[イベント名]	2021 年 3 月期第 2 四半期決算説明会
[決算期]	2020 年度 第 2 四半期
[日程]	2020 年 11 月 26 日
[ページ数]	25
[時間]	11:00 – 11:25 (合計：25 分、登壇：18 分、質疑応答：7 分)
[開催場所]	103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 2-6-1 日経茅場町別館 B1 (日本証券アナリスト協会主催)
[会場面積]	238 m ²
[出席人数]	25 名
[登壇者]	4 名 代表取締役社長 福原 俊晴 (以下、福原) 常務取締役 富澤 政信 (以下、富澤)

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com

取締役 渡辺 桂 (以下、渡辺)
取締役 三浦 裕二 (以下、三浦)

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



質疑応答

司会：それでは、この後は質疑応答の時間に入らせていただきます。この説明会は質疑応答部分も含めまして、全文を書き起こして公開の予定でございます。従いまして質問の際、会社名・氏名を名乗られた場合はそのまま公開でございますのでよろしくお願いいたします。もし匿名を希望される場合は質問の際、氏名を名乗らないようによろしくお願いいたします。それでは質問のある方、いかがでしょうか。

キタミ：ご説明ありがとうございます。SMBC 日興証券の北見と申します。

質問を3点ほど教えていただきたいんですけども。一つ目は、上半期の業績で訪問入浴サービスのところなんですけれども。先ほどおっしゃっていただいたように在宅の中重度のところのQOLを下げないためにという、こういうことなんですけども。他社さんなんか見ていると上半期、在宅訪問入浴、わりと堅調なところが多いんですけど。私の知識が浅いせいもあるのですが、この間いわゆる行政サイドから、なるべく手厚いケアをしてくれみたいな指導があったりとか、厚生労働省の方で、規制緩和みたいなのがあったのかどうかということを確認させていただければ、というのが一つ目ですね。

二つ目は、先ほどおっしゃったデイサービスなんかも、9月ぐらいにもう前年同期並みに回復してきているということなんですけども。また、コロナの感染再拡大が出てきている中で、現場の感覚としては、また感染が広がってくるよとやっぱり手控えちゃうユーザーの方とか利用者の方が増えるのか。いや、やっぱりあまりやらないと介護度も上がってしまう、老化も進んでしまうということも学んできて、いろいろ工夫しながら出てくるような今、状況だろうとは思いますが。感染が拡大しても、またグッと減ってしまうような感じではなくて、多少様子を見ながらでも利用者は増えていくという横ばいにはキープできる、そのようなイメージを持っておけばいいのかという、これが二つ目でございますね。

三つ目ですが、上海の話なんですけれども。春先はコロナの影響があったというお話ですけども、前年同期比の件数で4倍ということで。ここ数年、まだ母数が少ないながら高い伸びが続いているという中で、現地の方の利用の、いわゆるエンゼルケアに対する知識の普及度合いだったりとか。もっと利用していこうという、今どんな利用者のモメンタムになっているのかを、手触り感覚みたいなので結構なので教えていただければということで、この三つでよろしくお願いいたします。

三浦：それでは私、三浦よりご回答させていただきます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



まずは1点目、ご質問いただきました訪問系サービスについての状況でございますが、まず通所系のサービスとは違って、訪問系というのが比較的一対一のサービスという形態が多いので、利用控えというものが無い状況でございました。一方、通所系が利用控えがあったという現象がありまして。訪問系のサービスで代替えのサービスを継続してほしいという各行政さんからのお願いはございました。当社におきましては感染予防を最大限対応しまして、訪問サービスを継続したという状況でございます。

続きまして、2点目のご質問。今後のコロナウイルス、さらに拡大した場合というところなのですが、やはり先ほど説明もさせていただきましたけども、利用を控える期間が長引くとどういった現象が起きるかという、QOL、もっと細かくいいますとADL。日常生活動作の低下、認知症状の悪化という症状が出ております。ですので、第3波と言われている現象が起きたとしてもある程度横ばい、あまり利用を控えてしまうと違う問題が生じてくるということがわかっておりますので、大きな利用控えはないと考えております。

富澤：それでは上海の方に関しましては、担当の私、富澤からお答えさせていただきます。

主には二つなんですけれども、まず知名度が上がったのは事実でございます。それともう一つ大きな要因になったのが、中国の方にもわかりやすくサービスメニューの細分化。それをしたことにより、今まで以上に浸透度合いと、わかりやすさが上海の皆様にも伝わったと思っております。それでこのような結果になったと分析しております。以上でございます。

司会：よろしいでしょうか。ありがとうございました。他にご質問等、いかがでございましょうか。

それでは質問がないようでございますので、以上を持ちまして本日の決算説明会、終了でございます。どうもお疲れさまでございました。ありがとうございました。

[了]

脚注

1. 音声不明瞭な箇所については[音声不明瞭]と記載

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、当社は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。さらに、利用者が当社から直接又は間接に本サービスに関する情報を得た場合であっても、当社は利用者に対し本規約において規定されている内容を超えて如何なる保証も行うものではありません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用をしてはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて会員自身の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者自身が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による本規約に基づく利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して会員が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com